



平成 22 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 三井化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 稔一
(コード：4183、東証第 1 部)
問合せ先 IR・広報部長 裾分 啓士
(TEL . 03-6253-2100)

三井化学株式会社グループ内における フィルム/シート事業統合に関する意思決定のお知らせ

(三井化学ファブロ株式会社のソーラーエバ事業等の会社分割による東セロ株式会社への承継及び 三井化学株式会社のイクロステーブ事業の会社分割による東セロ株式会社への承継)

当社は、平成 22 年 6 月 24 日開催の当社取締役会において、当社、当社の 100%子会社である三井化学ファブロ株式会社(以下「MFI」という。)及び同じく当社の 100%子会社である東セロ株式会社(以下「東セロ」という。)のフィルム/シート事業を、東セロを核として統合すること(以下「本統合」という。)を決定いたしました。本統合においては、次の 2 つの会社分割を行うことを予定しておりますので、お知らせいたします。

ソーラーエバをはじめとする MFI 事業(業務用ラップ等の生活資材事業は除く)の会社分割による東セロ株式会社への承継(簡易吸収分割)
三井化学株式会社のイクロステーブ事業の会社分割による東セロへの承継(簡易・略式吸収分割)

なお、本統合は、当社の 100%子会社同士の間で行う分割及び当社と 100%子会社との間で行う簡易分割から成るため、証券取引所の適時開示ルールに基づいて、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

1. 会社分割の目的

三井化学グループ内に分散しているフィルム/シート事業を集約統合し、経営資源の集中投入と統合効果の最大化を図ることにより、経営・事業基盤の強化と社会・環境ニーズに合致した高付加価値製品の拡大を図ることを目的としております。

具体的には、生活材(食品包材等)を中心とした基盤事業のより一層の安定、産業材(IT、エネルギー等)を中心とした成長市場における高収益体質の確立を目指します。

なお、本統合の対象となるソーラーエバは、太陽電池封止材であり、MFI が製造、販売を行っております。また、同様に本統合の対象となるイクロステーブは、半導体製造工程用粘着テープであり、三井化学が製造、販売を行っております。

2. 会社分割の要旨

(1) MFI・東セロ間の分割

分割決議取締役会	平成22年6月28日(月)(東セロ)
分割契約締結 (MFI・東セロ)	平成22年6月30日(水)(MFI)
分割承認株主総会 三井化学ファブロ株式会社 (分割会社)	平成22年6月30日(水)
東セロ株式会社 (承継会社)	会社法第783条第1項の規定に基づき、分割 契約承認株主総会を、平成22年7月22日(木) に開催いたします。
分割の予定日(効力発生日)	会社法第796条第3項の規定に基づく簡易 分割であり分割契約承認株主総会は開催い たしません。 平成22年10月1日(金)

三井化学・東セロ間の分割	
分割決議取締役会	平成23年1月(予定)(三井化学)
分割契約締結 (三井化学・東セロ)	平成23年1月(予定)
分割承認株主総会 三井化学株式会社 (分割会社)	会社法第784条第3項の規定に基づく簡易分 割であり分割契約承認株主総会は開催いた しません。
東セロ株式会社 (承継会社)	会社法第796条第1項の規定に基づく略式 分割であり分割契約承認株主総会は開催い たしません。
分割の予定日(効力発生日)	平成23年4月(予定)

(2) 分割方式

MFI・東セロ間の分割

MFIを分割会社とし、既存の東セロを承継会社とする吸収分割(物的分割)です。

三井化学・東セロ間の分割

三井化学を分割会社とし、既存の東セロを承継会社とする吸収分割(物的分割)です。

(3) 分割に係る割当ての内容

MFI・東セロ間の分割

東セロによる普通株式の発行及びその割当交付はありません。

三井化学・東セロ間の分割

東セロによる普通株式の発行及びその割当交付を行う予定ですが、三井化学に割り当てられる株式の数等の内容については未定です。内容が確定次第、公表いたします(平成23年1月を予定)。

(4) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社及びMFIは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 分割により減少する資本金

本統合による当社及びMFIの資本金の減少はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

MFI・東セロ間の分割

東セロは、ソーラーエバをはじめとするMFI事業（業務用ラップ等の生活資材事業は除く。）に関する資産、負債及び権利義務を承継いたします。なお、東セロは、MFI生活資材事業に関する従業員の雇用契約についても承継するものといたします。

三井化学・東セロ間の分割

東セロは、当社イクロステープ事業に関する資産、負債及び権利義務（従業員の雇用契約を除く。）を承継いたします。

(7) 債務履行の見込み

本統合において東セロが負担すべき債務については、履行の見込みに問題はないものと判断しております。

3. 分割当事会社の概要（平成22年6月24日 現在）

(1) 商号	三井化学株式会社 (分割会社)	三井化学ファプロ株式会社 (分割会社)	東セロ株式会社 (承継会社)
(2) 本店所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号	東京都千代田区九段北四丁目2番6号	東京都中央区京橋一丁目3番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田中 稔一	代表取締役社長 吉川 謙二	代表取締役社長 富永 紘一
(4) 事業内容	基礎原料、フェノール、合繊原料・ペット樹脂、工業薬品、ポリウレタン材料、コーティング機能材料、エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー、機能性フィルム、不織布、精密化学品、ヘルスケア材料等の製造、加工及び売買並びにそれに付帯関連する事業	情報電子、自動車、包装、物流、建材等の産業資材向けフィルム、シート及び日用品雑貨の製造、加工及び販売、並びにそれに付帯する業務等	包装フィルム、産業用フィルムの製造、加工及び販売
(5) 資本金	125,053 百万円	400 百万円	3,450 百万円
(6) 設立年月日	昭和22年7月25日	昭和47年9月25日	昭和4年1月19日

(7) 発行済株式数	1,022,020,076株	200,000株	34,888,417株
(8) 決算期	3月31日	3月31日	3月31日
(9) 大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 5.16% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 4.99% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・東レ株式会社退職給付信託口) 3.73% (平成22年3月31日現在)	三井化学株式会社 100.00%	三井化学株式会社 100.00%
(10) 純資産	419,004百万円(連結)	5,542百万円	23,296百万円
(11) 総資産	1,238,086百万円(連結)	12,449百万円	50,518百万円
(12) 1株当たり純資産	376円41銭(連結)	27,709円18銭	667円75銭
(13) 売上高	1,207,735百万円(連結)	19,761百万円	56,187百万円
(14) 営業利益	9,461百万円(連結)	2,970百万円	4,015百万円
(15) 経常利益	13,132百万円(連結)	2,903百万円	3,954百万円
(16) 当期純利益	28,010百万円(連結)	1,638百万円	2,293百万円
(17) 1株当たり当期純利益	33円04銭(連結)	8,188円76銭	65円73銭

平成22年3月31日現在

4. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

MFI・東セロ間の分割

ソーラーエバをはじめとするMFI事業(業務用ラップ等の生活資材事業は除く。)

三井化学・東セロ間の分割

半導体製造工程用粘着テープ(商標イクロステープ)の事業

(2) 分割する部門の経営成績

MFI・東セロ間の分割

	MFI事業 (業務用ラップ等の生活資材事業は除く。) (a)	平成22年3月期実績 (b)	比率(a/b)
売上高	12,782百万円	19,761百万円	64.68%

三井化学・東セ口間の分割

	イクロステープ事業 (a)	平成 22 年 3 月期実績 (b)	比 率(a / b)
売 上 高	3,480 百万円	1,207,735 百万円	0.29%

(3) 分割する資産、負債の項目及び金額 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

M F I ・東セ口間の分割

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	3,872百万円	流動負債	3.517百万円
固定資産	5,005百万円	固定負債	796百万円
合計	8,877百万円	合計	4,313百万円

三井化学・東セ口間の分割

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	百万円	流動負債	百万円
固定資産	百万円	固定負債	百万円
合計	百万円	合計	百万円

(に関し当社の分割決議取締役会が予定される平成 23 年 1 月に改めて公表する予定です)

5 . 吸収分割承継会社の状況

(1) 商 号	東セ口株式会社
(2) 本 店 所 在 地	東京都中央区京橋一丁目 3 番 3 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 富永 紘一
(4) 事 業 内 容	包装フィルム、産業用フィルムの製造、加工及び販売
(5) 資 本 金	3,450 百万円
(6) 決 算 期	3 月 31 日

6 . 本統合後の上場会社の状況

(1) 商 号	三井化学株式会社
(2) 本 店 所 在 地	東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田中 稔一
(4) 事 業 内 容	基礎原料、フェノール、合繊原料・ペット樹脂、工業薬品、ポリウレタン材料、コーティング機能材料、エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー、機能性フィルム、不織布、精密化学品、ヘルスケア材料等の製造、加工及び売買並びにそれに付帯関連する事業
(5) 資 本 金	125,053 百万円
(6) 決 算 期	3 月 31 日

7. 今後の見通し

本統合が連結業績及び単体業績に与える影響は軽微です。

8. 本統合後の東セロの概要

- (1) 商号 三井化学東セロ株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 宮脇 良治
- (3) 本店所在地 東京都千代田区神田美土代町7
- (4) 事業内容 包装フィルム、産業用フィルム及び機能シートの製造、加工及び販売
- (5) 売上高(平成21年度決算合算) 747億円
- (6) 資産(平成22年3月末合算) 642億円
- (7) 人員(平成22年3月末合算) 1267人

(1)～(4)については、平成22年10月1日時点における予定

(5)～(7)については、いずれも三井化学、MFI及び東セロの本統合対象事業の合算

9. その他

本統合により、三井化学グループ内において次の統合効果が得られるものと見込んでおります。

- (1) 事業基盤の強化とそれに基づくアジアを中心とした海外市場への展開加速
- (2) 当社、MFI及び東セロの成形加工技術と三井化学グループ材料技術の組合せによる新製品の創出
- (3) 分割当事会社間で重複している機能・業務等の効率化

以 上